

Experiential Architecture Laboratory

名古屋工業大学工学部社会開発工学教育類

建築設計製図3(3年後期)後半 担当 郡 裕美

課題概要

建築って何だろう？

建築は、人間がこの世に生まれて、おそらく一番最初に目にする人工物だ。そして、そこで暮らし、働き、遊び、死ぬまでずっと関わり続ける。それなのに人々はあまりにも建築に対して無知すぎる。そして、なぜか建築そのものについて考えたり学んだりする機会はなかなか与えられてこなかった。

建築は、期待される機能を満たすだけでなく、人間と自然、人間と社会の間に在って、人間の環境に対する感じ方や、他者との関係のあり方に多大な影響を与える。また、建築は、視覚、聴覚、臭覚、触感などを通じて、空間感覚、時間感覚など、人間の存在そのものに影響を与えるものである。

そこで、一般の人々が空間体験を通して楽しみながら建築に対する理解を深め、また、建築設計に携わる我々自身が建築の新たな可能性を見いだすことができる体験型施設として、Experiential Architecture Laboratory (E.A.L.) を提案してほしい。

建築と人間、建築と社会、建築と環境、建築と自然、建築と都市、建築と技術、建築と歴史、建築と宗教、建築と記憶、建築と肉体、建築と芸術、、、建築には様々な側面がある。各自、自由なアプローチで、既成概念にとらわれない、斬新なアイデアを期待する。

設計条件

＜敷地＞

白川公園の一角に建設することを想定する。場所は、自由に設定して良い。既存の公園内通路を利用または経路変更可。新たに通路を設ける提案も可。既存の名古屋市美術館、科学館は、現状のままとする。

＜規模＞

30m×30m×30m の立方体のボリューム以内に収めること。（地下がある場合は、地下部分も含む）

＜構造＞

自由。ただし、著しく現実性のないものは不可。

＜所要室＞

●事務室、更衣室、便所、倉庫

●レストラン、カフェ、ラウンジ、ライブラリー、利用者用便所

その他、宿泊施設、浴場、展望台、瞑想室、中庭、テラス、屋上など、コンセプトに応じて所要室を追加設定しても良い。

これらは、独立した部屋でも連続した空間でもよい。

●空間体験コーナー

コンセプトに応じて広さは自由に設定、上記の所要室と兼ねてもよい。

＜その他の施設等＞

駐車場、駐輪場、ゴミ置き場等は、別の場所に設けるものとし、今回の計画では考慮しなくても良い。

＜その他＞

建築基準法など、法律的な規制は考慮に入れなくて良い。ただし、公共に使われる建築として、機能性、安全性などを考慮した、使用可能な建物とする。

最終要求図面等

<要求図面>

A1 用紙4枚(必要に応じて5枚以上とすることも可。担当教員の許可を得ること。)に、以下のものを配置すること。紙の種類や着色など表現方法は自由。ただし、自らの設計コンセプトに適した表現とすること。

1)案内図(1/1500 程度)

公園全体図及び周辺道路との関係を示す図の中に、想定敷地を入れ込む。

2)配置図及び1階平面図(1/100)、各階平面図(1/100)

方位。必要に応じて配置図に周辺道路や公園内の通路、既存建物などを入れる。

建築物の主要寸法(柱心、壁心など、建物全体及び各室の大きさを把握するのに必要な寸法。)

3)立面図(1/100)

4)断面図(1/100)

建築物の主要寸法(全体の高さ及び各階高の高さ、各部屋の天井高を表す寸法。)

5)パース(着色は適宜。模型写真でも可。)

各空間体験コーナー(5面以上)。

外観1面以上。

6)その他

—全体コンセプト説明文 600 字以内

—建築空間体験のコンセプトを説明する図面、スケッチ。

<模型>

模型(1/100)。

設計意図を表すのに最も適した製作方法を選定すること。

材料は自由。ただし、持ち運びに耐えられるもの。

事前提出物(11月23日(金)5時まで)

文章課題:『建築 (architecture) とはなにか。』

あなたが考える、建築とはなにかという文章を600字以内で書いて、メールで送付してください。

koriyumi@gmail.com

エスキースチェック時の提出物

* 提出物は、原本でなく、コピーをとって提出してください。カラーのものは、カラーコピーまたは、カラープリントで提出してください。提出物には、それぞれ、必ず、氏名を記入してください。

1)提案書草案(A3 サイズの紙1枚に表現)

- a.) コンセプト説明文草案。(建築には様々な要素がある。それらの中で、自分が特に重要だと思う建築の魅力を経験できる施設として、コンセプトをまとめる。)
- b.) 文章を補足する資料として、計画全体のコンセプトをビジュアルで説明するもの。
スケッチ、コラージュ、写真など表現方法は自由。
- c.) 各空間体験コーナーの平面スケッチ、断面スケッチ、パースなど
- d.) 想定敷地がわかる図。(フリーハンド可)
公園全体図、周辺道路との関係を示す図のなかに、選んだ敷地を明記する。
- e.) 配置図及び各階平面、断面ゾーニング図(フリーハンド可)

中間チェック時の提出物

* 提出物は、原本でなく、コピーをとって提出してください。カラーのものは、カラーコピーまたは、カラープリントで提出してください。提出物には、それぞれ、必ず、氏名を記入してください。

1)建物のコンセプトを説明するスタディ模型(縮尺は自由)

2)提案書(A2、枚)

- a.) コンセプト説明文。(600字以内)
- b.) 模型写真(各空間体験コーナーを現すもの。最低5カット以上。)
模型写真だけで表現できない場合は、パースや詳細のスケッチを付加すること。
- c.) 配置図及び各階平面図(1/100)方位、周辺道路や公園内の通路、既存建物などを記入
- d.) 断面図(1/100)

敷地：白川公園の一角に想定する。

